

【技術資料】

流通型フローセル（型式FC-40）の流量特性

流通型フローセルは、弊社標準仕様の各種残留塩素濃度計のモニタ部と組み合わせることにより、捨て水の無い残留塩素濃度計を構築することが出来ます。

しかしながら、残留塩素計はいずれも流量特性を有していますので、正確な測定を行うためには、一定の流量で検水を流すことが必要となります。さらに、FC-40型ではセンサの洗浄にビーズを使用しているために、ビーズ洗浄に対する的確な流量範囲がありますのでご使用時には規定流量（ $1.3\text{L}/\text{min.} \pm 20\%$ ）で検水を流すことが必要となります。

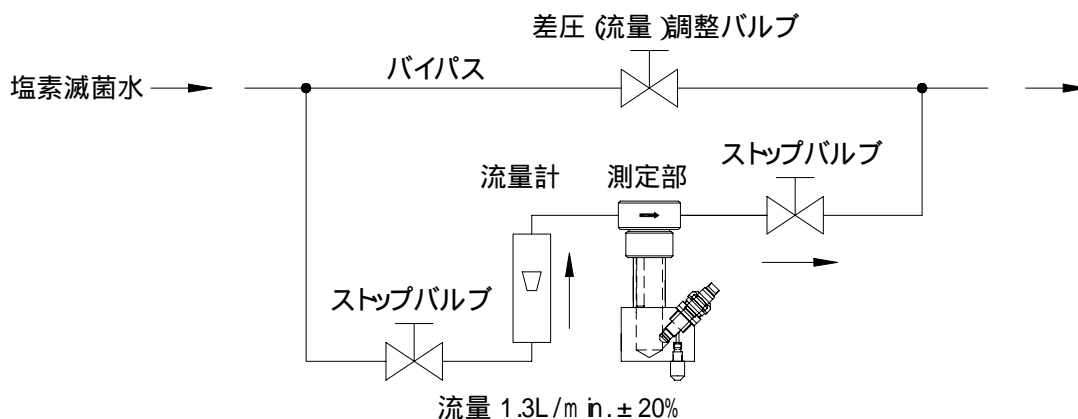
設置方法や使用方法につきましては別紙取扱説明書を御参照下さい。

測定部の配管例

測定部の配管は、下図を参考にして、測定部に必ず $1.3\text{L}/\text{min.} \pm 20\%$ の範囲で検水を流すことが出来るようにしてください。

検水流量が規定値以下になると、測定値の変動が大きくなるほか電極のビーズ洗浄効果が低下するために時間の経過とともに感度が低下するなどの現象が生じます。また、検水流量が規定値以上になると、ビーズによる電極の研磨が強くなり、センサの寿命が短くなりますので注意してください。

なお、検水流量が変動すると測定値も変動しますので、定流量弁等を用いるなどして可能な限り、流量を一定に保つようにしてください。

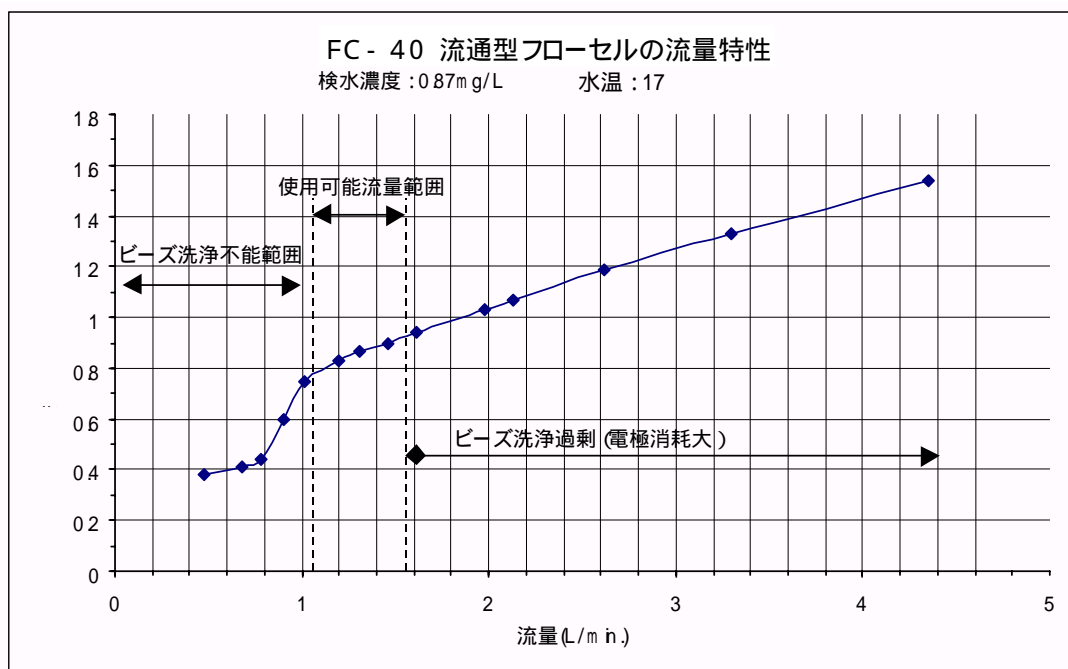


配管参考図

測定部の保守を行う時のために、測定部の前後には必ずストップバルブを取り付けておいてください。

設置状況に応じて、適切なカートリッジフィルターを測定部の前に設置してください。

FC - 40 の流量特性図



適正流量時 (1.3L/min. ± 20%) における
測定状況とビーズ動作

指示値の安定性とビーズによる洗浄効果が確保される。



流量低下時 (0.5L/min) における
測定状況とビーズ動作

指示値が大幅に低下し、時には 0 mg/L 付近まで落ちることにより塩素剤の過注入等を引き起こすことにもなる。
ビーズによる洗浄効果は得られない。